

事業計画の概要

産業廃棄物処分業

札幌市

事業の全体計画

廃プラスチック類、紙くずの圧縮

古紙回収業者等から購入をした古紙類（古新聞、古雑誌、使用済みの段ボール、紙パック等）を油圧装置で圧縮し、鋼線を用いてブロック状に梱包することで製紙工場への運搬の効率化を図る施設を使用して、産業廃棄物としての廃プラスチック類、紙くずを古紙類と同様に圧縮・梱包を行います。

圧縮・梱包をした紙くずは、製紙原料として売却をするか、石狩市に所在する弊社の RPF の製造施設にて製紙工場等のボイラー燃料の原料として使用をします。圧縮・梱包をした廃プラスチック類は、石狩市に所在する弊社の RPF の製造施設にて製紙工場等のボイラー燃料の原料として使用をします。

金属くずの破砕

金属スクラップ回収業者等から購入をした金属スクラップ（主として建物の新築、解体、改修等で発生するスクラップ）を油圧装置で切断し、電炉メーカーの炉に投入可能な大きさに加工する施設を使用して、産業廃棄物としての金属くずを金属スクラップと同様に破砕（切断）を行います。

破砕をした金属くずは、製鋼原料として売却します。

廃プラスチック類の破砕・溶融

未使用または新古品相当である購入をした発泡スチロールを破砕し、加熱溶融を行って棒状の樹脂にする施設を使用して、産業廃棄物としての廃プラスチック類（発泡スチロール）を購入した発泡スチロールと同様に破砕・溶融を行います。

棒状の樹脂は、樹脂原料として売却します。

廃棄物の種類ごとの処分量

圧縮

廃プラスチック類・・・60トン／年

紙くず・・・20トン／年

破砕

金属くず・・・1,000トン／年

破砕・溶融

廃プラスチック類・・・0.5トン／年

業務の具体的な計画

- ・ 処分業務を行う時間

8 : 00 ~ 17 : 00

- ・ 休業日

第 2 第 3 土曜日、日曜日

- ・ 処理フロー

処理工程図に掲載

従業員の内訳（2018年4月2日現在）

- ・ 申請者又は申請者の登記上の役員 …… 10人

- ・ 令第6条の10に規定する使用人 …… 5人

- ・ 事務員 …… 106人

- ・ 運転手 …… 45人

- ・ 作業員 …… 216人

- ・ その他 …… 55人

合計 437人

環境保全上の概要

施設において講ずる措置

- ・ 施設の処理能力内での運転を行う。（過負荷防止）
- ・ 施設運転中は、作業員を配置し異音、異臭の監視を行う。
- ・ 施設の正常な機能を維持するため、定期的に（施設稼働日、1日1回）装置、保管施設等の床面、建屋の屋根及び壁面の点検を行う。破損等に対しては速やかに補修、修復を行う。

保管施設及び出荷・運搬時において講ずる措置

- ・ 保管を行う際は保管基準を遵守し適切に保管をおこなう。
- ・ 中間処理後の廃棄物等を出荷する際は、運搬車両からの飛散を防止するため必要に応じてシートの使用、ロープ、ワイヤー等にて固定する。